

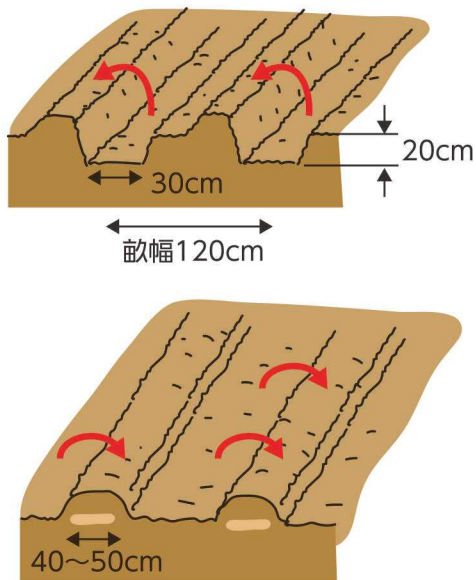
あなたもチャレンジ!! 家庭菜園

ソラマメ マメ科野菜の 連作を避ける



園芸研究家 成松 次郎

図1 畑の準備

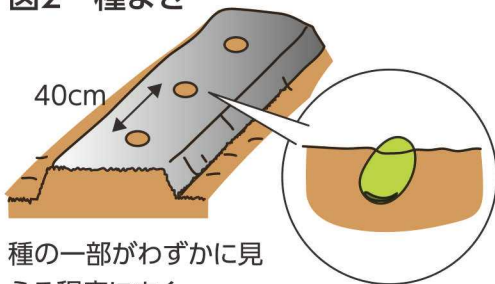


ソラマメはサヤが上向きに付くので空豆、サヤの形が蚕の繭に似ているので蚕豆とも書きます。タンパク質と糖質が主な成分で、代謝を円滑にするビタミンB群や高血圧予防に効果的なカリウム、貧血を予防する鉄分などのミネラルが豊富です。

【品種】「陵西一寸」(みかど協和)、「仁徳一寸」(タキイ種苗)、「打越一寸」(サカタのタネ)など。

【畑の準備】種まき2週間前に畑1㎡当たり苦土石灰100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。次に、1週間前に畝幅120cmを取り、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)と堆肥100g(窒素成分で10g)と堆肥

図2 種まき

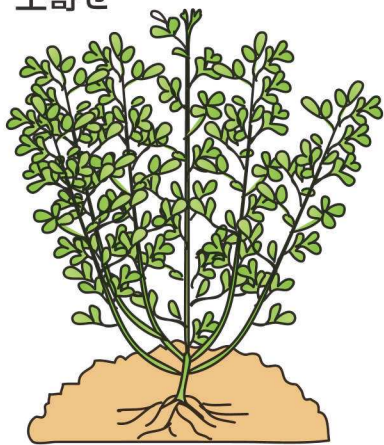


種の一部がわずかに見える程度にまく

1kgを入れ、土とよく混ぜて幅40~50cmの栽培床を作ります(図1)。

【種まきと育苗】温暖地では10月中旬~11月上旬が適期で、早まきして年内に生育が進み過ぎないようにすることが大切です。じかまきは、株間40cm程度、種の黒い筋(おはぐろ)を斜め下に浅く差し込んで種の一部分がわずかに見える程度に1カ所2粒をまきます(図2)。発芽がそろったら、1本を残して間引きします。育苗する場合は、ポットに1粒をまき、本葉2枚の頃に畑へ植え付けます。寒い地域では冬の間、寒冷紗(しゃ)のトンネル掛けで、霜よけをすると良いでしょう。

図3 土寄せ



【追肥と土寄せ】春先に生育の勢い

が良くなり始めたころと開花始めごろに化成肥料を畝1m当たり30g程度(窒素成分で3g)追肥します。追肥後は株元に土寄せをします(図3)。

【支柱立てと整枝】早春から生育が盛んになり、10本程度の側枝が出てくるので、太い枝を6、7本残すように細い枝を切り取ります。そして、株の中に土入れし、株の両側にテープを張り、倒伏を防ぎます。

【病害虫の防除】春になるとアブラムシが飛来し、新葉に群生します。先端を20cm程度切り取っておくと、倒伏の防止にもなります。

【収穫】サヤが重みで下がり、光沢が出て黒い斑点が現れ、背筋が黒く変色するところが収穫適期です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています